

帰依住職の

イッペー

チビラーサン

— 沖縄の年中行事 —

▶ 5

十五夜

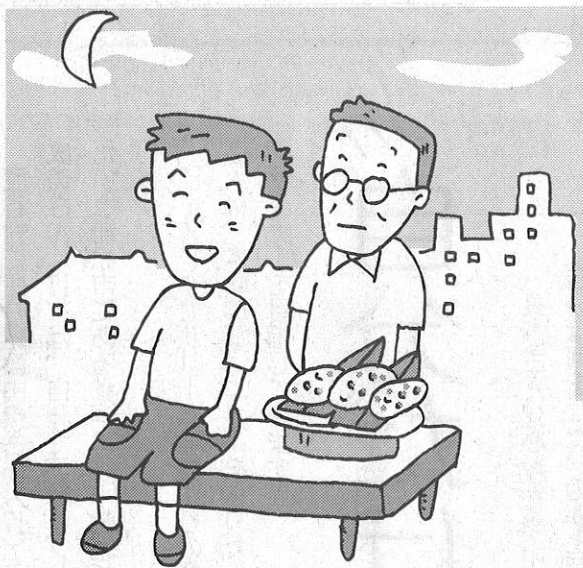
月様のお祭りを行います。  
 このお祭りは、中国や本土  
 では中秋の名月ちゅうしゅうめいげつと呼ばれて  
 います。ゆらゆらとゆれる  
 ススキの葉。まん丸の黄色  
 いお月様。きれいに山高く  
 盛り付けられたお団子。も

ちつきをしているウサギた  
 ち。どれも十五夜になくて  
 はならないシーンばかりで  
 す。  
 沖縄では、それぞれの地  
 域でいろいろな催し物もよおがあ  
 ります。ある地域では、一

# フチャギ供え 豊作に感謝

ハイサイ！ 月の満ち欠  
 けを生活の中に取り入れて  
 きた沖縄では、今でも旧暦きゅうれき  
 の1日・15日をととても大切  
 にしています。旧暦1日の  
 月は新月(月が肉眼では見  
 えなくなる)です。昔の人  
 はまたそこから新しい月が  
 生まれて来るという考えを  
 持っていました。また旧暦  
 15日になると、月が丸く満  
 ちて満月になります。

沖縄では、旧暦の8月15  
 日(今年(今年)は新暦10月6日)に  
 なりますと、十五夜(ジュ  
 ーグヤー)とか月祭り(ウ  
 チチウマチ)と呼ばれるお



年の穀物の豊作を感謝する  
 ため、自宅のお仏壇ぶつだんなど  
 にお供え物を準備します。踊おど  
 りや綱引きつなひをする地域もあ  
 ります。有名な糸満市の大  
 綱引きも、ちょうどこの時  
 期に行われます。

また、沖縄の多くの地域  
 では、「フチャギ(吹上餅)」  
 と呼ばれるおもちを準備し  
 ます。フチャギとは、丸み  
 を帯びた少し細長い白もち  
 に、小豆あずきをまふしたおもち  
 です。みなさんも、一度は

見たことがあるのでは？  
 このフチャギをお仏壇や台  
 所のヒヌカン(火の神)にお  
 供えするのです。穀物をふ  
 んだんに使用するのはフチ  
 ヤギは、やはり穀物の豊作  
 に感謝する心の表れなので  
 しょう。イッペー チビラ  
 ーサン(とても素晴らしい  
 ですぬ)！

この旧暦8月15日の十五  
 夜のことを、新しい種まき  
 等を行う農業の仕事始めて  
 あるとも考える人もいま  
 す。私たちも穀物に感謝す  
 る十五夜から、「いただき  
 ます」と「ごちそうさま」  
 の大切さを学び、三度の食  
 事に感謝できる素晴らしい  
 人になりたいですね。  
 (帰依龍照球陽寺住  
 職、タイムスカルチャーセ  
 ンター「基礎から学ぶ沖縄  
 の年中行事」講師)